

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

現代家政学部 現代家政学科

本学部・学科の入学者受入れの方針は、学位授与の方針（ディプロマポリシー）、教育課程・実施の方針（カリキュラムポリシー）に従い、コミュニケーション能力、汎用的能力、プレゼンテーション能力の育成を基本とする関係から、「国語」「英語」などのコミュニケーションスキルについては一定の能力を求める。また職業人としてのキャリア教育を重視し、自立した生活者を目標とする関係から、目指す社会人像をしっかりと描くことのできる意欲が見られること。以上の観点に立って一般入試、公募推薦、特別推薦選考、AO（アドミッション・オフィス）入試等を実施する。

現代家政学部 食物栄養学科

本学の目指す管理栄養士像を踏まえ、我が国を取り巻く社会環境の変化に伴う少子高齢化社会のなかで、「健康長寿社会の実現」に向けて、地域の病院、老人福祉施設、児童福祉施設、学校、行政機関等において地域社会における栄養の指導と食育の担い手として、専門知識と技能、実践的能力を修得し、人々の健康づくりの専門職として貢献しようとする意欲と資質を持った、次のような人材を求める。

- 人々の生活における食物・栄養・健康に関心がある。
- 人々の食生活の質を大切にし、栄養の指導の能力を身につけてさまざまな人々の健康づくりに貢献しようとする目標を持つ。
- 自らがより積極的かつ自主的に熱意を持って食と栄養に関する専門性を高め、地域社会の人々の健康の維持・増進を支援しようとする使命感にあふれている。
- 向上心があり何事にも積極的に取り組むことができる。